

## 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会医療法人松涛会	代表者	斎藤 妙子	法人・事業所の 特徴	「地域の中で生き生きとその人らしくゆったりと、楽しく自由にありのままに」を理念に利用者様の気持ちに向き合い、寄り添いながら支援すること大切にしています。また地域に密着したサービスの向上を心掛けています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 くるみの家	管理者	濱田 英記		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	1人	人	1人	人	3人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	ミーティングなどの場で職員全体で改善計画について話し合い、決定事項に対して職員一人一人が自覚しながら充実した支援に取り組む。	ミーティングなどの場で、職員全体で話し合いを行いながら、利用者の支援に取り組むことは出来ていたが、担当でない所での業務に対する意識が足りなかった。	職員が意見交換しやすい、雰囲気や環境整備に努めて欲しい。	担当職員を中心に利用者一人一人のケアを考えながら実行し、「楽しく暮らせる施設」を目指す。
B. 事業所のしつらえ・環境	感染対策の強化と継続を行いながら、清潔感のある環境整備と来所者が気軽に声を掛けやすい雰囲気作りや飾りつけを行っていきたい。	感染対策はしっかりと行っていたが、施設内でのコロナウイルス感染が拡大してしまった。更なる感染対策・予防に努めたい。行事の写真を各フロアに掲示したり、季節の飾りつけを行うなど、「楽しい施設」を感じる環境整備は行えたと思う。	地域の拠点として、誰もが住みたくなる、相談しやすい環境を作ってくれると良いと思う。	5 S活動に力を入れ、整理整頓・清潔など職員が働きやすい、利用者が住みやすい環境整備に取り組む。
C. 事業所と地域のかかわり	地域イベントの情報収集や施設内行事の情報発信などを充実させ、地域とのかかわりを深めていきたい。	地域の「夏祭り」に参加したり、近くのお寺の桜を見に行ったりと利用者・職員が地域住民との関わりを深めることは出来てきていると思う。	地域の子供達や高齢者など、気軽に施設に来れる関係性が築けると良いと思う。	地域のイベントに積極的に参加しつつ、また施設内行事への地域の方の参加を呼び掛けることで、地域との関わりを強化していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	施設内外のイベントへの参加・充実を図りながら個別支援の取り組みも行っていく事で、地域の一員として支援できる環境を作っていきたい。	今年度初めて「施設見学ツアー」を企画し実行した。また、個別支援を取り組む中で、「墓参り」や卒業した学校訪問など其々のニーズに合った支援が出来ている。	利用者一人一人のニーズに合った取り組みは素晴らしいと思うので継続して欲しい。	個別支援の更なる充実を図りながら、「施設見学ツアー」の開催により施設の認知度を高めていく。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	地域での心配な方等の事例検討等を会議で話し合い、施設として具体的にかかわっていける場にした。	運営推進会議の場で一般的な情報交換は出来ているが、具体的な事例を検討するまでには至らなかった。	会議の中で話題に挙がった事例や行事などを、聞いて終わるのではなく活用できると良いと思う。	会議の中で得た貴重な情報を活かすことで、地域との関係性を深める場にした。
F. 事業所の防災・災害対策	地域の防災訓練への参加やBCP（災害時の業務継続計画）の研修を年2回行い、施設として地域の中で緊急時に拠点となれる体制を構築していく。	BCP（災害時の業務継続計画）の研修を行う事で、避難場所の確認や避難誘導の方法など職員が慌てず対応できるよう訓練が出来ている。	災害時に地域住民の避難先としての拠点となるため、地域の防災訓練にも積極的に参加できれば、協働作業がしやすい環境にも繋がると思う。	地域の防災訓練への参加やBCP（災害時の業務継続計画）の研修を行うことで、緊急時の体制作りに努めたい。